



道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 607
令和2年6月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 小林 勉
定価 20円(会員の購読料は会費に含む)

8月10日は「道の日」

経済のV字回復と地方創生及び国土強靱化の推進を!

第72回定時総会附議事項を書面表決

全国道路利用者会議は、
新型コロナウイルス感染症拡
大を受け、「第72回定時総
会」を中止とした。このた
め、総会附議事項を理事会
で承認し、理事会で議決さ
れた。書面で表決を求めた総
会「議案第2号・令和元年度
収支計算書」、「議案第3
号・役員の一部改選」、「
議案第4号・令和2年度

役員の一部改選

大阪府・辻 卓史
大阪府・坂本栄二
特別会員・吉川芳和
《新選出理事》
秋田県・高橋 大
首都道路・青木 正
首都道路・加藤昌宏
長野県・小池 清
長野県・丸山大輔
《新選出監事》
近畿地区(京都府)・堀
忠雄
《新承認副会長》
近畿地区(和歌山県)・中
村慎司
《新指名常任理事》
秋田県・高橋 大
首都道路・青木 正
長野県・小池 清
大阪府・辻 卓史
特別会員・吉川芳和
(敬称略)

決議

新型コロナウイルス収束後に経済をV字回復させるとともに、地方創生及び国土強靱化を推進し、ストック効果を早期に発揮させるため、次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

- 一、新型コロナウイルス収束後の官民を挙げた経済活動のV字回復と、物流・観光等の経済活動復興のための道路整備
 - 一、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の継続及び対象事業の拡充
 - 一、東日本大震災や熊本地震等による被災地の速やかな復旧・復興、予防保全への転換に向けた老朽化対策に必要な予算の確保
 - 一、高規格幹線道路等の未整備区間の解消及び四車線化・六車線化の早期実現
 - 一、新たな広域道路交通計画の早期策定と重要物流道路の更なる指定・重点整備及び新たな特車通行許可制度の早期実現
 - 一、高速道路料金の事業者向け割引の継続
 - 一、スマートIC整備、道の駅第三ステージの推進及び交通ターミナルの官民連携での全国展開
 - 一、トラック、バス、タクシー等の利用者目線での渋滞対策の促進
 - 一、緊急安全点検結果を踏まえた交通安全対策、無電柱化の推進
 - 一、自動運転サービスの全国普及に向けた、道路空間の基準等の整備と社会実装の推進
- 長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和三年度道路関係予算は、所要額を確保すること。
- 令和二年五月二十日
全国道路利用者会議
第七十二回定時総会

事業計画」、「議案第5号
・令和2年度 収支予算
書」、「議案第6号・令和
2年度 会費」、「各地区
地区要望事項」及び「決議
(案)」となっていた。
これらの附議事項を理事
会に送付し、5月20日まで
に返送された同意書を精査
した結果、全ての附議事項
に同意を得ることができ、
全国大会(臨時総会)にお
いて報告を行うこととして
いる。
国土交通は、「新たな広
域道路ネットワークに関する
検討会」においては、新
たな広域道路ネットワーク
のあり方の方向性について
議論を行っている。今回、
検討会の「中間とりまとめ」
が発表された。

広域道路ネットワークに関する現状認識

◆交通の現状・課題

- 新型コロナウイルス禍でも物流交通は維持、エッセンシャルワーカーとしてのトラックドライバー担い手不足
- 諸外国に比べ都市間連絡速度が遅い
- 高速道路・一般道における渋滞の発生
- 高速道路と交通拠点とのアクセス向上
- リダンダンシー等の増大する災害リスクへの対応
- インフラ老朽化への対応(通行止めの懸念)
- トラック大型化への対応(国際海上コンテナ車)

◆時代の変化

- スーパー・メガリージョンや地域の自立圏の形成等の新たな国土構造
- アジア・ユーラシアダイナミズムやインバウンドの増加等のグローバル化
- 自動運転実用化に向けた実証実験の動きの加速など、AI・ICT等の新技術の発展
- 企業の国内回帰や地方回帰等、社会の変化の可能性への備え

交通課題の把握と今後の道路ネットワーク計画の再構築が必要

新たな広域道路ネットワークに関する検討会中間とりまとめ

今後の広域道路ネットワークのあり方

- ◆新たな国土形成の観点
○アジア・ユーラシアダイナミズムを踏まえた2面活用型国土、社会の変化の可能性への備え 等

- ◆現状の交通課題の解消を図る観点
○渋滞の解消、増大する災害リスクへの対応、ラストマイルを含めた交通拠点へのアクセス向上等

これらの観点を踏まえ、広域道路ネットワークの効率的な強化が必要

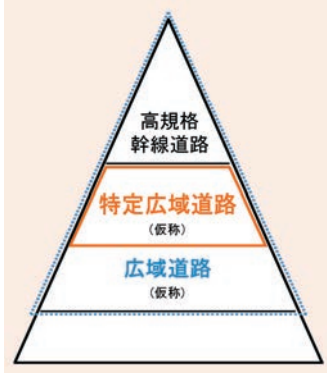


アジア・ユーラシアダイナミズムを踏まえた日本海・太平洋2面活用型国土の形成



h以上のサービス速度
道路ネットワークの付加
価値向上
地域の将来ビジョンを踏ま
えた広域道路ネットワーク
計画を策定する必要。その
際、他交通モードとの連携
強化や地方創生・東京一極
集中是正の観点も重要。

今後の必要な取組



◆広域道路ネットワークの段階と求められる

- ①広域道路(仮称)・・・概ね40km/h以上のサービス速度
- ②特定広域道路(仮称)・・・より高い定時性、概ね60km/h以上のサービス速度

○広域道路ネットワークについては、厳選して整備・機能強化を加速させることが必要
○時代の変化に応じて、広域道路ネットワーク計画の適時・適切な見直しが必要

“道路総合システムサービス”企業



二チレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL.03(3265)1511代表

『道のほ
世界を
つなぐ』
令和元年度
「道路ふれあい月間」
推進標語